

競技上の注意

- 1 7月11日(日):開館時刻(8:30)・競技開始(9:30)
- 2 競技に伴う入退場について
  - (1) 競技予告コールにより、当該コートへ集合してください。
  - (2) コーチングシートに入れるのは、登録してある指導者・選手のうち2名以内とします。
  - (3) コーチングシートでの服装については、公認審判員規程に従ってください。(上衣はチームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、下衣は長ズボン・スカートとします。ウィンドブレーカー・長袖ジャージは可、7分丈のズボン可、ジーンズは不可) 席を移動する場合は、シャトルがインプレーでないときに移動すること。
  - (4) 選手は指定されたゼッケンを必ずつけてください。
  - (5) 試合は流し込み方式で行うため、場内放送に気をつけてください。
- 3 公式練習について
  - (1) 朝の練習のみに限ります。コール後の練習は競技進行の妨げとなるため、禁止とします。
  - (2) 試合中、試合のないコートでの練習は一切禁止します。
- 4 インターバルについて
  - (1) 25点1ゲームの場合、13点でチェンジエングズを行い、60秒を超えないインターバルを認める。
  - (2) 21点3ゲームの場合は、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。
  - (3) 試合が連続した場合、次の試合との間隔は、10分間とします。
  - (4) 原則として、事故タイムは認めません。主審は判断できない場合には手を挙げて本部に知らせてください。
- 5 審判について
  - (1) 主審は敗者審判とします。初回戦はシード選手に割り当てますので協力をしてください。
  - (2) 線審は、試合をしている学校(団体)で、相互に行います。  
※各団体で、必ず1名を帯同させるが、不足している場合は、他のチームの選手へお願いしてください。
  - (3) 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則により試合を行います。規則を厳守してください。
  - (4) 汗拭きのためコートを離れる場合は主審の許可を必ず得ること。また、試合中第三者の力を借りることはできません。
  - (5) 得点については、1、2回戦は25点1ゲーム、3回戦からは21点3ゲームで行います。
- 6 シャトルについて  
1試合につき、1個支給します。2個目以上は双方の持ち寄りで行います。(第一種検定球)
- 7 施設使用上の注意
  - (1) ごみは各自で持ち帰ってください。
  - (2) 廊下・ロビーでの練習は禁止します。(縄跳びを含む)
  - (3) ロビー・通路及び玄関は、避難通路確保のためシート敷きは禁止します。
- 8 その他
  - (1) ジュニア新人の部の優勝・準優勝者は、宮崎県バドミントン協会会長の推薦により、第40回全日本ジュニアバドミントン選手権大会へ出場資格を得ることができます。